

ONEの取り組み 2021年度第4四半期

ONE
OCEAN NETWORK EXPRESS

2022年4月28日



1. **CEOからのメッセージ**
2. **ONEの取り組み**

1. CEOからのメッセージ 1/2



最高経営責任者（CEO）
ジェレミー・ニクソン

サプライチェーンにおけるボトルネック

日々の貿易の拡大及び最近の地政学的な状況は、世界の多くの地域でオペレーションにおける課題を生じさせています。当社は、可能な限りこれらの課題を克服することに注力していますが、中国では、最近新型コロナウイルスの再発により、多くの地域で規制や対応措置が導入され、工場の生産、倉庫、保管、トラック輸送、港湾のオペレーションに影響が出ています。また、ロシア向け貨物に対する制裁措置により、北欧のハブ港では引き続き混雑が激しく、北米の港湾・陸上物流は依然として混雑が続いています。米国西海岸では、ILWU(国際港湾倉庫労組)との港湾労働契約の団体交渉が間もなく開始される予定です。これらの要因により、結果として本船スケジュールの遅延や輸送サービスの提供が滞ったり、抜港などの悪化につながっています。

ロシア・ウクライナ情勢

ロシアとウクライナにおける当社の事業は、現在も進行中の両国の紛争により大きく影響を受けています。当社は、バルト海および黒海経由のウクライナ、ロシア向けのブッキングを全て停止し、極東ロシアの取り扱いもまた、同国への国際的な制裁措置によって大幅に縮小しております。当社のロシア及びウクライナ発着貨物の取扱量は、全体の1%未満にすぎませんが、多くのお客様のサプライチェーンにおいては、原材料の調達や生産面で突然の変更を余儀なくされ、少なからず影響が出ています。また、燃料油価格の大幅上昇など、世界的にエネルギー価格への悪影響も見られました。船舶の傭船料も過去に例のない高値が継続しています。

2021/2022年 業績について

当社は、2021年会計年度（2022年3月期）を、これまでに例を見ない利益水準で締めくくることができました。また、2018年4月のサービス開始以来、バランスシート及び現金準備金のレベルを最高水準に引き上げることが出来ました。財務面では通期を通して予想を上回り、3年連続の黒字、また営業利益率（EBITマージン）は、2021年で競合他社を上回ることが出来ました。しかし、2022年の見通しについては、経済的逆風が予想されることに加え、不確定要素も多く、慎重な姿勢で臨んでいきます。さらに、2022年以降も脱炭素化やデジタル化への投資にも対応していく所存です。

1. CEOからのメッセージ 2/2

中期戦略の発表

当社は中期戦略を、今年3月23日に投資家向け事業説明会で発表しました。新たな戦略は明確かつ確固としたものであり、これを実行していくことにより、当社は革新的且つ高度なサービスを提供する世界的コンテナ船社としての地位を維持していくことができると確信しております。中期戦略は200億米ドルの継続的な投資計画を含み、船舶、コンテナ、システム、主要ターミナルへ投資し、10%のROEを目指します。投資計画は、単に安定した船隊を確保するだけでなく、新たなグリーン環境戦略 - 現行のIMOの2030年および2050年の炭素排出目標よりもはるかに高いレベルを目指すもの - を達成するためのものでもあります。

グリーン戦略

当社のグリーン戦略は、中期戦略の中核をなすものです。また、多くの業界団体や専門家グループと協力し、技術やベストプラクティスを取り入れていくことで、世界の海運業の脱炭素化を加速させる上で、主導的な役割を果たすことを期待しています。この戦略は、公表と同時に既に開始しており、当社が今後進捗状況をモニターし、公表するプロセスを確立していくとともに、より明確なCO2削減目標をもたらしました。

当社のグリーン戦略の7つの柱は、「グリーン投資」、「代替燃料」、「カーボンマネージメント」、「効率的なオペレーション」、「エコシステムの構築」、「クリーンなサプライサイクル」及び「環境保護」となります。

サービスの向上

当社はデジタル化における3つの主要分野、エンタープライズ・アーキテクチャとデジタルソリューションに焦点を当て改善と開発に引き続き取り組んでいます。「Channel Digitalization」、「Operation Digitalization」、「Asset Digitalization」です。今期は、モバイルアプリをリニューアルし、トラック&トレース機能を向上させました。また、ONE QUOTEの利用地域を拡大し、カスタマーサービスへの問い合わせ対応と応答時間を改善するために、サービス・クラウド・システムを社内で立ち上げました。

航路では、アジア-東アフリカ（EAF）航路を再編し、新たにEA3（East Africa 3（Mombasa））とEA4（East Africa 4（Dar Es Salaam））の2つのウィークリーサービスを開設しました。これは、モンバサ寄港のEA3とダルエスサラーム寄港EA4は既存2便に加え、便数を増やし、スケジュールの安定性を向上させるものです。2022年THE Allianceのサービスは、FP2の振り子サービスを、FE5（東南アジア～ヨーロッパ）とPS7（東南アジア・華南～太平洋横断北米西岸）という、欧州と北米西岸の2つの航路に分離することを発表しました。これらの変更は、欧州、アジア、北米で直面している港湾の混雑によるサービスの乱れから、スケジュールを回復させるために導入するものです。

2. ONEの取り組み

当社にとってオペレーション及びカスタマーサービスを高めることは、最重要課題です。業務プロセスのデジタル化と更新により、当社は高いレベルのカスタマーサービスを維持しており、これは2022年での迅速な対応にも表れています。環境問題への取り組みにも力を注いでおり、環境に優しいリーファーコンテナを増強しました。また、3,500人以上の従業員が地域社会に貢献するCSR活動に参加し、最近では海水の環境保全に取り組む「#ONE Ocean」キャンペーンをグローバルに展開しています。





オペレーションの優位性

社内および社外との協働

きめ細やかな管理

前四半期に引き続いて、1-3月の間も様々なオペレーションの課題に直面しました。世界的な港湾の慢性的な混雑、陸上輸送能力の不足、コンテナヤードの流動性の低下、新型コロナウイルスの変種による労働力の低下などは、当社が直面している課題の一例です。

この間、大西洋と太平洋の両方で異常気象や悪天候に見舞われました。当社はサービスへの影響を最小限に抑えるため、徹底した気象モニターを実施し、最適なコース取り、また臨時便の活用を実施してきました。当社のLean & Agileの部分を担うビジネスフォーメーションであるBusiness Collaborative Council(ビジネス・コラボレーティブ・カOUNシル)のもと、世界各地のチームはそれらの影響を抑え、提供するスペースを最大限に高めるために協働してきました。

船主と乗組員

当四半期は、新型コロナウイルス感染症の流行が続いていることや、アジアにおける規制の厳しい環境にもかかわらず、乗務員の交代手配を引き続き進めました。その結果、当四半期の乗員交代の手配は前年同期比36%増加しました。

利用可能な空コンテナの最大化

厳しい状況下で、当社はコンテナの在庫管理を行っていますが、昨今は船舶の運航スケジュールの混乱により、一層管理運用が複雑になってきています。そうした状況下で当社は、お客様へのコンテナ供給に支障をきたさぬよう、適正な空コンテナの在庫水準を維持して参ります。

空コンテナの調達

空コンテナについては、市場と需要の予測に基づいて、引き続き必要な空コンテナの調達を進めて参ります。

当社は、3月、世界中で高まる冷凍貨物の需要に応えるため、6,000本のリーファーコンテナと500本のCAコンテナを調達することを公表しました。当社は、2022年も成長が見込まれるリーファーコンテナの需要に応えるべく引き続き責任を果たして参ります。

空コンテナの回送

当社では、空コンテナのポジショニングのためにスペースをフル活用するという従来の方針に加えて、船腹の供給が厳しい中でも、空コンテナ輸送用の臨時船を手配しました。当四半期の空コンテナ輸送量は、2021年度第3四半期までの平均値と比較して5%増加しました。



顧客サービス志向（1/4）

eコマースとデジタル化構想「Root」のアップデート

- 2022年3月、当社は、改修後の「ONE eコマース プラットフォーム」の試験運用を開始しました。再設計されたインターフェースは、お客様の利便性向上を目的として、いくつかの新機能の円滑な操作性をサポートすることを目的としています。
- 更なるお客様の利便性向上を目的として、モバイルアプリケーションを新しく改良いたしました。主な改良点は、モニタリングと管理プロセスに重点を置いた「Track and Trace」機能です。
- 当社は、新しい eコマース・プラットフォームの一部として、ブックイングの変更及び確認プロセスの機能をさらに強化したサービスを提供しています。
- 「ONE QUOTE」は、サービス航路範囲の拡大や機能開発により、さらに充実しました。またアジア向けのポートペアを増やしました。
- 当社は、電子決済ソリューションによるオンライン決済の選択肢をインドネシアとタイに拡大し、中国やインドなど他の国への展開も検討しています。

顧客サービスのアップデート

- 当社は、Salesforce社のCRMソリューションである「Service Cloud」の試験的な導入を一部の国で開始しました。「Sales Cloud」と「Service Cloud」を統合して導入することで、お客様を全方位から把握できるようになり、当社のサービス全体のレベルを向上させることができると確信しています。
- 当社は、サービスチャネル戦略とデジタルソリューションを連携させ、営業・カスタマーサービスチームとお客様との距離を一步縮めることを目指します。
- お客様からのお問い合わせに対して、チャット、ウェブ、電子メール、電話など、確立されたサポートチャネルを通じて当社は一貫したサービス品質を提供できるように努めて参ります。



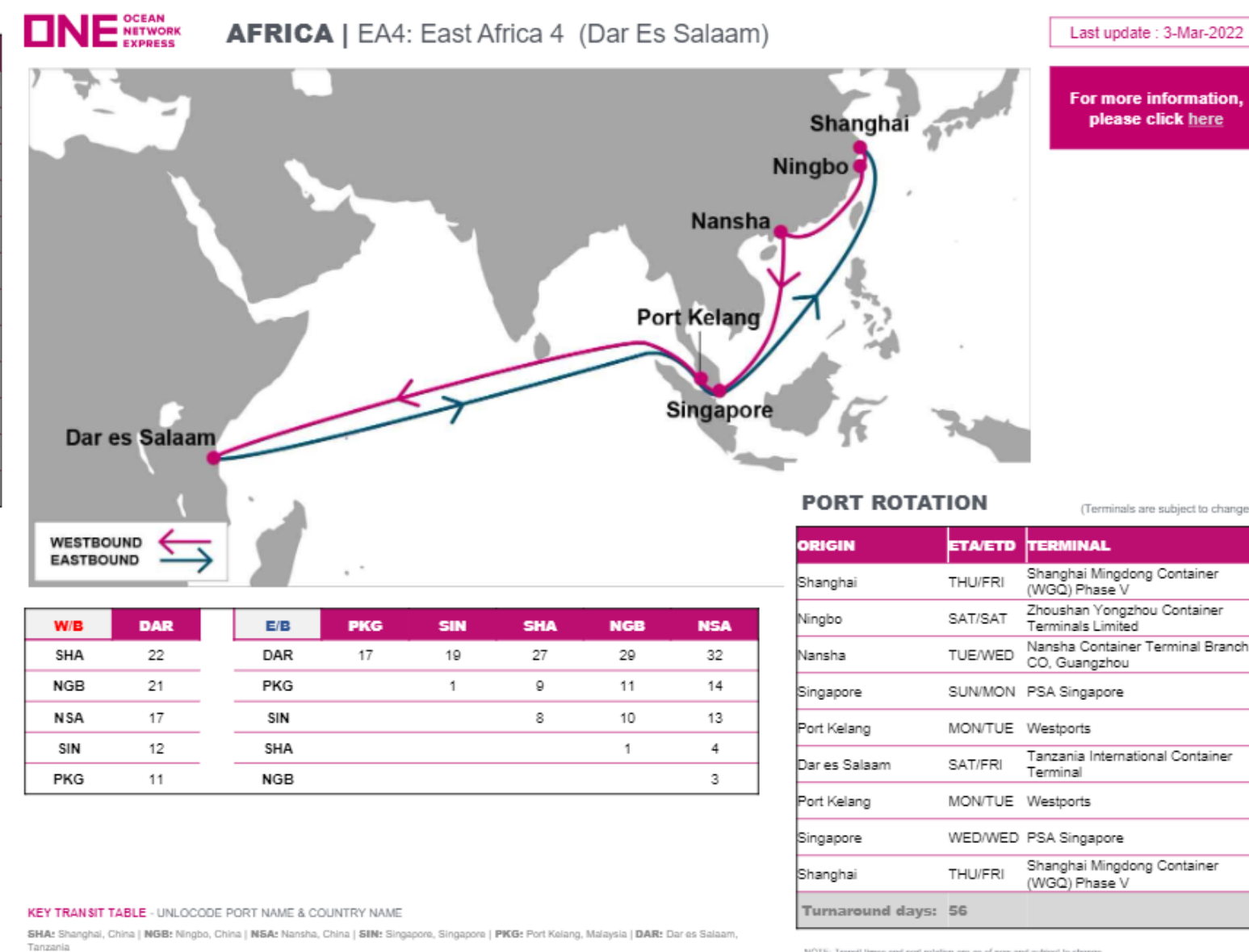
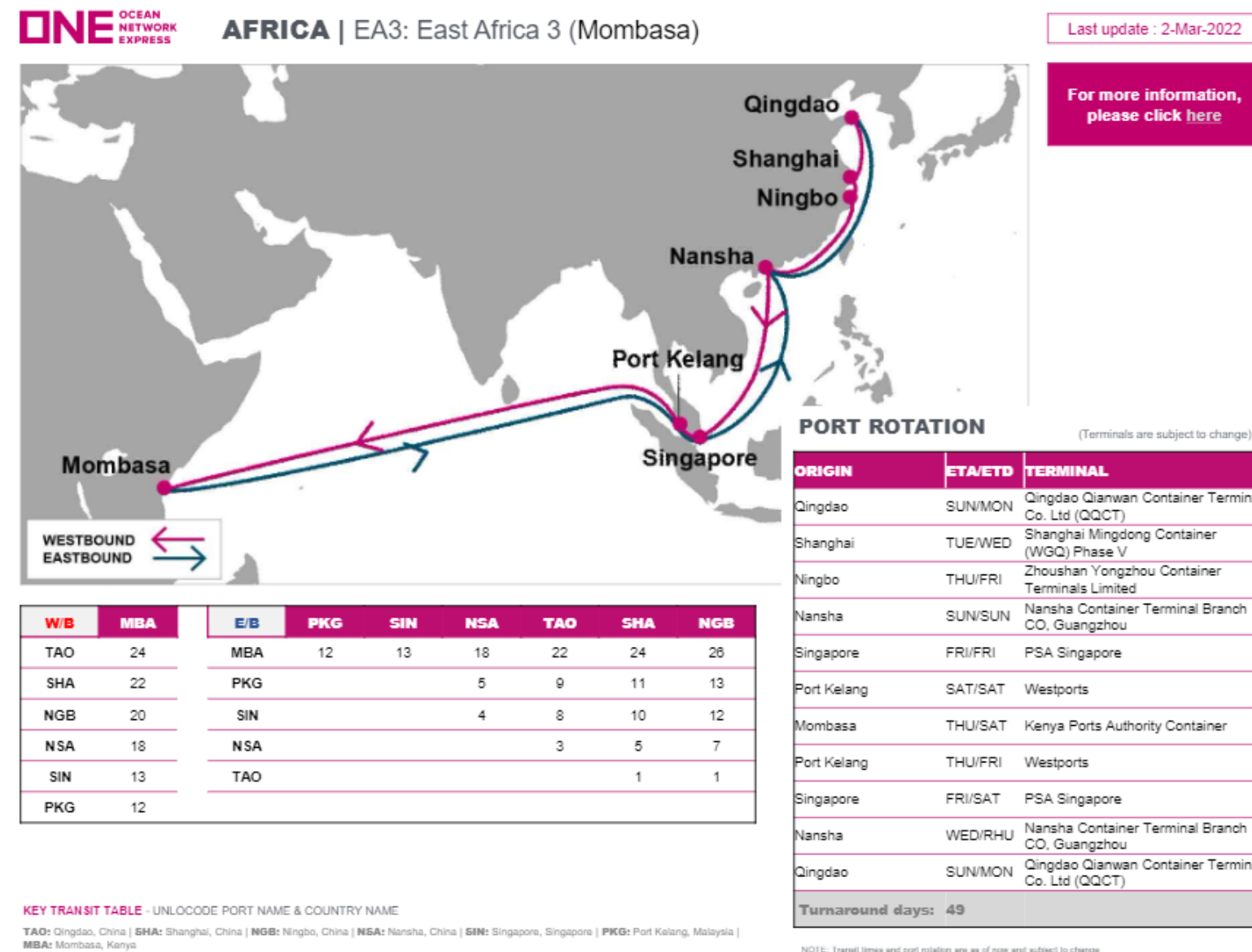
2. ONEの取り組み 3/8



顧客サービス志向（2/4）

アジア-東アフリカ（EAF）航路の再編によるEA3及びEA4サービスの提供

当社は、アジア-東アフリカ（EAF）サービスを再編し、新たにEA3（East Africa 3（Mombasa））およびEA4（East Africa 4（Dar Es Salaam））の2つのサービスを開始したのでお知らせします。[プレスリリースのダウンロード](#) [サービスマップ](#)



東アフリカ3（モンバサ）（EA3）航路サービス及び東アフリカ4（ダルエスサラーム）（EA4）航路サービス

モンバサ折り返しループのEA3とダルエスサラーム折り返しループのEA4の2つの新航路は、より高い頻度と、より安定したスケジュールを提供します。この再編は、より信頼性の高いサービスで、当社のお客様にとって有益なものとなります。

EA3は青島発2022年3月13日から、EA4は上海発2022年3月10日からサービスが開始されました。各航路の経由地は、以下の通りです。

(EA3) 青島-上海-寧波-南沙-シンガポール-ポートケラン-モンバサ-ポートケラン-シンガポール-南沙-青島（ウィークリーサービス）

(EA4) 上海-寧波-南沙-シンガポール-ポートケラン-ダルエスサラーム-ポートケラン-シンガポール-上海（ウィークリーサービス）

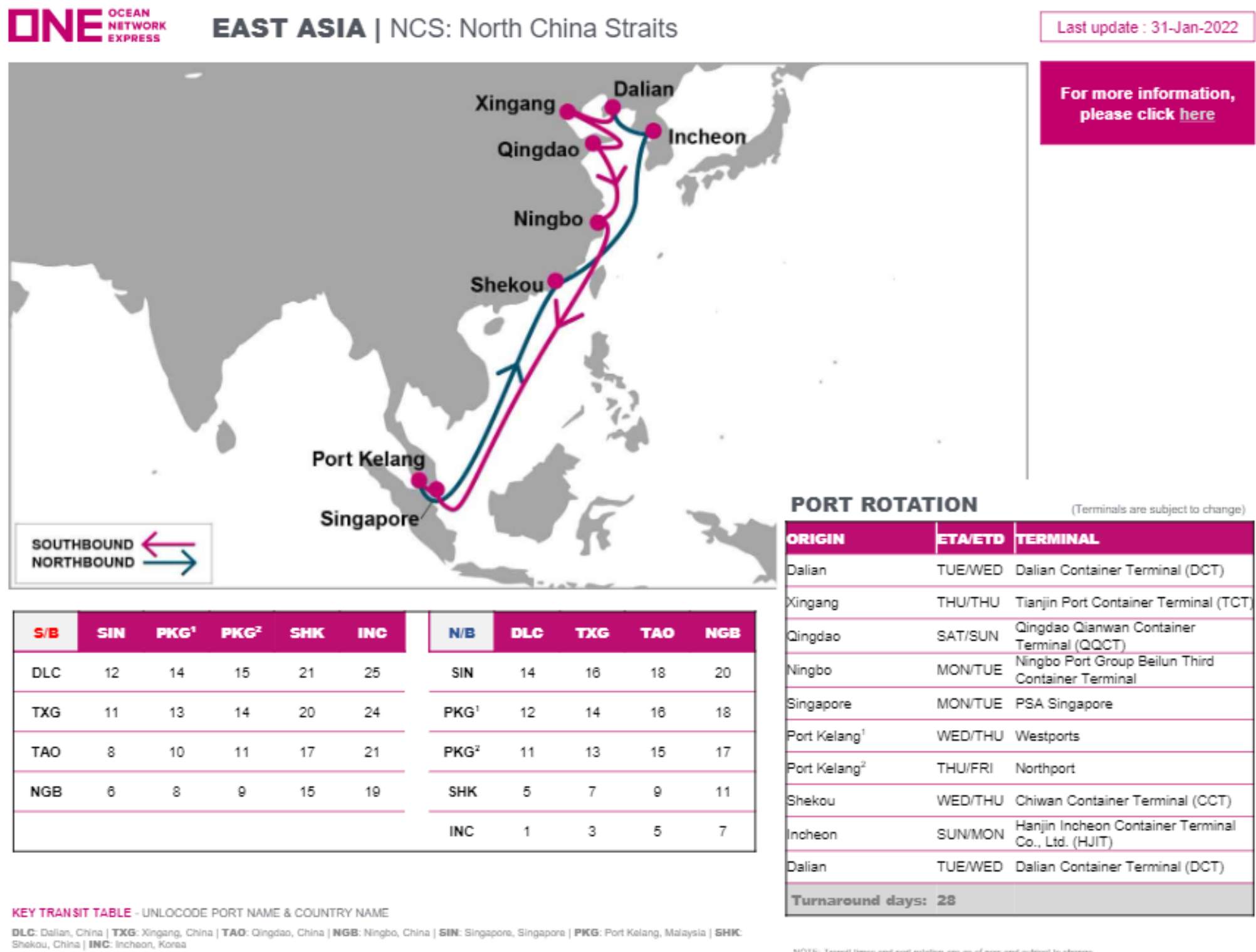


顧客サービス志向（3/4）

華北・海峡地サービスの開設

当社はまた、華北と海峡地を結ぶ新たなサービスを公表しました。2月28日に中国の新港（*）からウィークリーサービスとなる新たな華北・海峡地サービス（NCS）は、当社の大切なお客様に、より多くの便数と柔軟性を提供することになります。

[プレスリリースのダウンロード](#) [サービスマップ](#)



華北・海峡地サービス（NCS）

NCSの経由地は、以下の通りとなります。

大連-新港-青島-寧波-シンガポール-

ポートケラン（西・北）-蛇口-仁川-大連

NCS Effective Vessel Voyage

SITC SURABAYA / 2202S,

ATA（*）Xingang 2022年2月28日

（*）スケジュール回復のため、初航は大連を抜港



顧客サービス志向（4/4）

THE Alliance 2022年度 サービスネットワークの一部改編を発表

THE Alliance のネットワークは、寄港地を包括的にカバーするために再編します。新しいサービスは2022年春から運用される予定です。

主な変更点は、FP2の振り子サービスを、FE5（東南アジア～欧州）とPS7（東南アジア・華南～太平洋横断北米西岸）の2つの航路に分離することで、独立したサービスとして迅速かつ柔軟に対応し、かつ、運航回数を増やすことに主眼を置いています。

もう一つの重要な変更点は、最も頻繁に運航される航路を大型化することです。燃料効率の良い11,000TEUの最新型船舶を導入することで古い船舶と入替え、二酸化炭素排出量の削減を目指すTHE Allianceの継続的な取り組みを示すこととなります。

THE Allianceの各社は、世界の主要港の混乱や問題がサプライチェーンに遅れをもたらしていることを深刻に受け止めています。したがって、より迅速な運航のために、柔軟かつ強固な対策を導入するための努力を継続的に行って参ります。

[プレスリリースをダウンロード](#)





グリーン戦略 (1/2)

新たなグリーン戦略の始動

2022年3月、当社は新たなグリーン戦略を発表し、海運業界の脱炭素化の最前線に立つことを決意しました。これには、脱炭素化を実現するための意欲的な目標が含まれています。

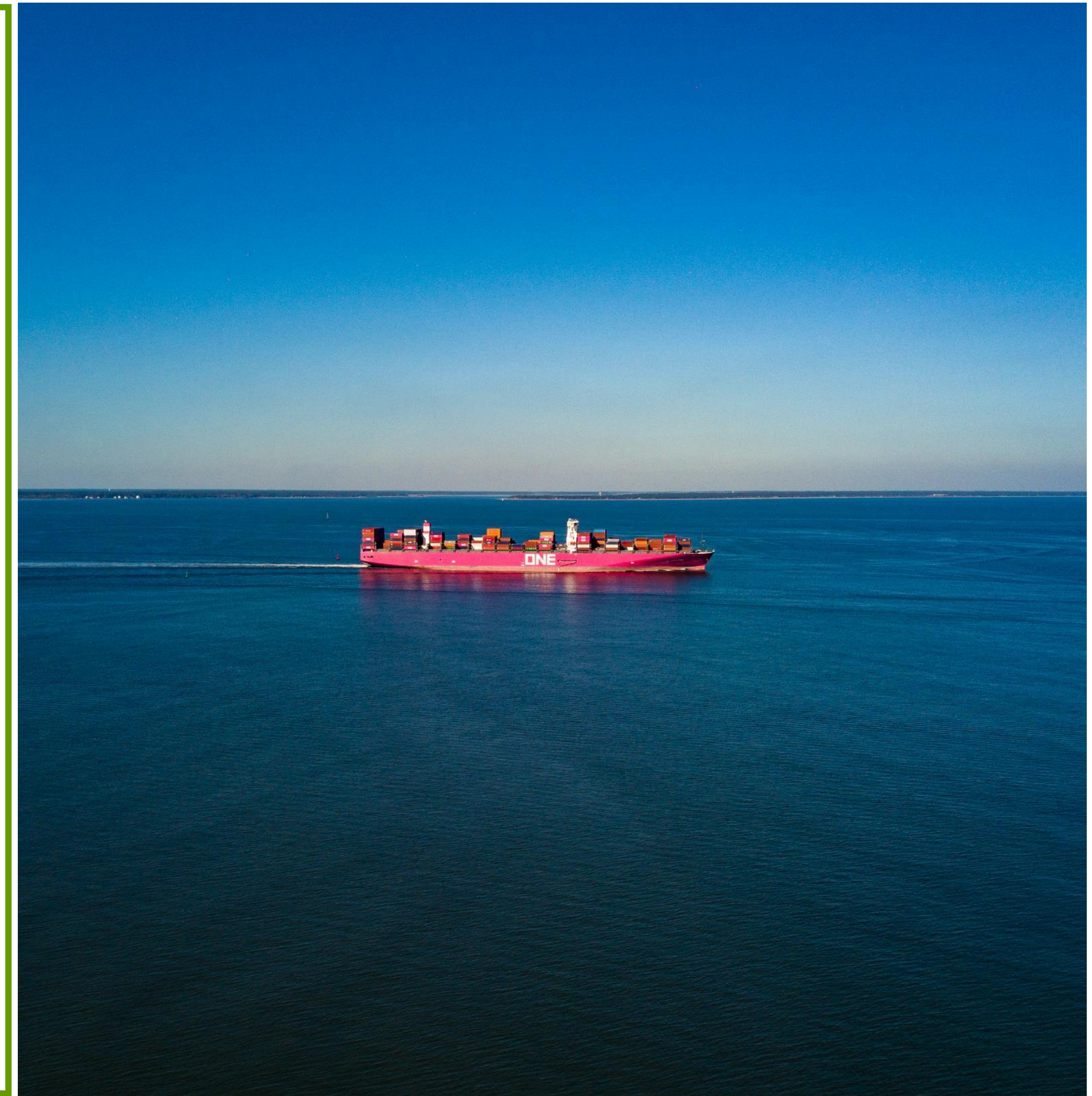
排出原単位：2030年までにスコープ 1 のGHG排出量をTEU/kmあたり70%削減する。

絶対排出量：2050年までにGHG排出量（スコープ2及び3を含む）をネットゼロにする。

当社のコミットメント

- ONEのグリーン戦略は、2050年までにカーボンニュートラルを達成し、地球環境保全において重要な役割を担うこととして、当社の経営課題の最上位に位置づけられています。
- 当社は、環境に配慮した資産や技術への継続的な投資を行うとともに、環境目標を達成するためにあらゆる適切な措置を講じます。
- 当社は、「海運の脱炭素化」目標を達成するために、様々な関係者と協調して取り組んでいきます。

この戦略では、当社はさまざまなプロジェクトにおいて「代替燃料」、「カーボンマネジメント」、「クリーンシップリサイクルなどの環境保全への積極的取り組み」など、グリーン投資を強化しています。これらのプロジェクトは、当社と業界全体の脱炭素化への目標達成を加速させるものです。





グリーン戦略（2/2）

環境に優しいリーファークンテナの拡大

当社は、世界中で高まるリーファークンテナの需要に応えるため、現在保有するリーファークンテナに、新たに6,500本を追加することを発表しました。新しいリーファークンテナは、従来の溶剤系塗料ではなく水性塗料で塗装され、環境と人の健康を守る当社の取り組みを反映しています。

溶剤系塗料の使用は、環境を汚染する揮発性有機化合物（VOC）を放出し、大気汚染や視界に影響を与えるスモッグの原因となることが知られています。水性塗料を使用することで、VOCの排出量を80～90%削減することができ、しかも耐久性や防錆力など、溶剤型塗料と同等の品質を保持することができます。

リーファークンテナの増強により、生鮮品の輸送に対するお客様のニーズの高まりにも対応していきます。さらに、500本のCAコンテナは、港での長い滞留時でも品質を保ち、食品や医薬品をより長く安全に保つことが、お客様に実感いただけるものと信じています。

[プレスリリースをダウンロード](#)





従業員の取り組み（CSR）

2021年度には、世界中で延べ3,526人の社員がCSR活動に参加し、地域社会とのつながりを深め、地域に貢献しました。

#OneOceanプロジェクト - 水中の生命を大切にするため、シンガポールのみならず世界中で海洋保護プログラムを強化しています。ONE本社はシンガポールで、海岸清掃活動を実施し、CEOとC&I部門のMDを含む20人の管理職が参加しました。また、シンガポール国立公園局とともにセントジョーンズ島でのサンゴ礁保全プログラムに参加し、現地視察を行いました。スリランカではマングローブの植樹を行い、メキシコでは卵殻による海岸の保全活動を継続中です。

シンガポール国立大学-リー・クアンユー公共政策大学院への奨学金と資金援助 - シンガポールにおいて、より良い世界の実現に向けてリーダーシップをとって活動していることを評価し、当社は、Social mobility基金に奨学金を寄附し、後援団体となりました。

船員支援団体(MTS)のプラチナ・サポーター - 世界のサプライチェーンを支える船員を尊重し、支援するというMTSの継続的な取り組みを評価し、当社は、MTSのプラチナ・サポーターとなりました。

国際女性デーの取り組み

2022年、当社は、国際女性デー（3月8日）を祝し、組織内の多様性及び包摂性に関する意識を高めるため、国際女性デー（IWD）キャンペーンに取り組みました。IWDの2022年キャンペーンテーマ「#BreakTheBias」に合わせて、当社の世界中の社員が#BreakTheBiasのポーズをとり、その画像を社内のコミュニケーションプラットフォームで共有することが奨励されました。その結果、約80枚の写真が投稿され、当社のソーシャルメディアチャンネルとIWDのウェブサイトで共有されました。さらに、GHQと各地域の女性管理職が、多様性及び包摂性についての考え方や、海運業界の女性管理職としての自身の経験を語る、一連の#ONEWomenSpeak社内ビデオが制作されました。このシリーズは、多様性及び包摂性に対する意識を高めるための第一歩であり、当社の女性スタッフに対して、リーダーシップを促すことを目的としています。

グローバルに展開するCSR活動

- ONE Hong Kong - クロスロード基金による無料輸送サービスの提供。香港からコートジボワールまで、ベビー服や生活必需品を届けました。
- ONE India - バンガロール、コーチンなど各地の病院へ衛生用品を寄附しました。
- ONE Manila - 台風「Odette」の被害に対して寄附を行いました。
- ONE Nederland - ソフィア小児病院に対してクリスマス寄附を行いました。
- ONE Spain - バルセロナとバレンシアでのフードバンク活動を行いました。
- ONE Brazil - 社会的共生と健康意識を促進するためTeatro CegoとCebelegriaに寄附しました。

[その他の活動はこちらにも…](#)





ありがとうございました

www.one-line.com